Course nun	nber	U-LAS20 10001 SB48										
Course title (and course title in English) 英語リーディング ER33 1S8 English Reading						name, and d	Instructor's name, job title, and department of affiliation		Part-time Lecturer, NISHIMOTO NOA			
Group Lai	nguages				Field	Field(Classification)						
Language of instruction	Japanese			Old group Group		Group C		Number of credits 2		2		
Number of weekly time blocks	1				minar (Foreign language) Face-to-face course)			Year/semesters		2025 • Second semester		
Days and periods	Mon.1		Targe	Target year 1s		st year students		Eligible students		For all majors		
[Areas of skills]												

Academic Reading

# [Overview and purpose of the course]

大学生活と学術英語に慣れはじめた後期の授業では、科学記事やニュースを日英両方で日常的にた しなむ習慣を身につけます。多くの情報資料を英語で読み解き、議論するために必要な実践的な学 術英語の習得と訓練を行います。 The coming of age of quantum biology: Life on the Edge (「量子力学 で生命の謎を解く』を切り口に、研究者がどのように日常生活から研究テーマを見つけ、多分野で 多国籍の人と議論し試行錯誤しながら楽しく研究を深化させていくのか観察することを目的としま す。

## [Course objectives]

この授業では、(1)英語で書かれた学術記事の講読を通じて、学術英語を使いこなす技術を習得する こと、(2)日常生活の小さな疑問や出来事を、異なる価値観や様々な学術領域から考察する能力を培 うこと、(3)日本語と英語の両方で自分の伝えたいことを他者にわかりやすく伝える能力(プレ ゼンテーション能力)を養うことの3点を主な目標とします。授業を通じて、学術の器と人間の器 の両面を広くするために切磋琢磨していきます。

#### [Course schedule and contents)]

授業では教科書として、The coming of age of quantum biology: Life on the Edge (「量子力学で生命の 謎を解く』を読んで皆で議論していきます。

|黙々と読んで訳す授業ではなく4技能を駆使したアクティブな授業です。短い英文テキストのシャ ドーイング とディクテーションで普段使っていない脳を動かしたり、関連する英語の映像資料など を適宜視聴します。

- |(1) Introduction 授業オリエンテーション、大学で学ぶ英語とは、この授業で使う教科書について、 自己紹介、書籍の紹介
- |(2)|Introduction||量子生物学という領域、学術書籍の序論やはしがき、著者の研究への熱意や科学| |者のあり方
- (3) Chapter 2 What is life? 生命とは何か
- (4) Chapter 3 The engines of life 生命のエンジン
- (5) Chapter 4 The quantum beat 量子のうなり

Continue to 英語リーディング ER33(2)

# 英語リーディング ER33(2)

- (6) Chapter 5 Finding Nemo's home ニモの家を探せ
- (7) Chapter 6 The butterfly, the fruit fly and the quantum robin チョウ、ショウジョウバエ、量子のコマドリ
- (8) Chapter 7 Quantum genes 量子の遺伝子
- (9) Chapter 8 Mind 心
- (10) Chapter 9 How life began 生命の起源
- (11) Chapter 10 Quantum biology: life on the edge of a storm 量子生物学-嵐の縁の生命、受講生の英語での口頭発表と質疑応答
- (12) Epilogue: quantum life 量子革命、受講生の英語での口頭発表と質疑応答
- (13) 受講生の英語での口頭発表と質疑応答
- (14)受講生の英語での口頭発表と質疑応答
- (15) フィードバック

# [Course requirements]

Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".

# [Evaluation methods and policy]

5回以上欠席した場合は成績評価の対象としない。

授業中の自由で積極的な発言と、自ら主体的に調べて学ぶ姿勢を評価します。学術英語技術を習得する授業なので、必要に応じて、より適切な英語の発音やアクセント、イントネーション、表現に授業内では誘導していきますが、成績評価では、英語の発音の正確さや流暢な英語力だけではなく、むしろ予習、復習そして積極性や主体性を重視します。

- \*月に1~2回内容チェックテスト(単語テスト、専門用語の英語での定義、英語の聞き取り(ディクテーション)テスト)
- \*授業中に3~5分間の英語でのプレゼンテーション 教科書の内容の要約もしくは参考文献に挙げている書籍から好きなトピックを選んでプレゼンテーション

### [Textbooks]

Johnjoe Mcfadden and Jim Al-Khali 『The coming of age of quantum biology』(2016)ISBN: 9780307986825(kindle,オーディオブックあり)

# (Related URL)

https://www.ted.com/talks/jim\_al\_khalili\_how\_quantum\_biology\_might\_explain\_life\_s\_biggest\_questions? subtitle=en(量子生物学は生命の最大の謎を解明するか?)

## [Study outside of class (preparation and review)]

授業の予習として、細かく英語の単語を調べて、逐語訳をするのではなく、章単位でまとめて読み、必要な箇所は辞書で調べ、各章で何を主張しているか、要点をまとめて内容を理解してきてください。どんな分野、どんな視点でも良いので、自分で好きな参考資料を探して目を通してきてください。(思いつかない場合は参考図書から選びその一部を読んでくるだけでもOK)授業では双方向コミュニケーションを重視していますので、積極的に発言しましょう。

予習は原則ですが、予習ができなかった週でも、技能の授業は出席して得るものがあります。前 週前夜体調不良等で予習ができなかった日は、授業時間に集中して積極参加し、知的な刺激を得て 帰るようにしましょう。

「英語が苦手」「英語の発音は得意ではない」「英語はあまり喋れない」「リスニングは苦手」 と思っていても、問題ありません。学術英語は訓練すれば誰でも身につけることのできる技術です。

Continue to 英語リーディング ER33(3)

英語リーディング ER33(3)											
[Other information (office hours, etc.)]											
大学生活、英語学習、第2言語習得や留学、その他個別に配慮してほしい点など相談したい案件が あれば、毎回配布する出席コメントシートに記入してください。											
[Essential courses]											